国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure,Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

令和７年７月２８日

■同時発表先：島根県政記者会、出雲市政記者クラブ、米子市政記者クラブ、松江市政記者クラブ

～設立から 10 周年、中海・宍道湖ラムサール条約登録から 20 周年～

大型水鳥類が舞う斐伊川水系の魅力を活かした地域づくりを進めます

斐伊川水系には豊かな水辺と水田地帯が広がっており、日本を代表する大型水鳥類が安定的に生息することができる環境を有したステキな地域です。

この環境を活かした、大型水鳥類をシンボルとした生態系ネットワーク※1の形成による魅力ある地域づくりを目指して、平成 27 年度に『斐伊川水系生態系ネットワーク協議会※2』を設立しており、多様な主体と連携した環境保全や地域振興に向けた取り組みを行っています。

この度、第 12 回の協議会を開催し、昨年度の取組状況の報告と今後の具体的な取組の進め方等について議論します。

※1「生態系ネットワーク」とは・・・参考　別紙―１

※2 正式名称：斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

【開催概要】

◆日　時　　：令和７年８月４日（月）１０：００～１２：００
◆場　所　　：松江市　さんびる文化センタープラバホール　２Ｆ大会議室
◆内　容　　：別紙―２「議事次第（案）」参考
◆参加予定団体：国、県、市、各種関係団体等

※これまでの協議会の詳細については、国土交通省出雲河川事務所のウェブサイトをご覧下さい。
リンク先：http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/iinkai/ryuiki/econet/index.html

【取材について】

＜問い合わせ先＞

◇国土交通省　中国地方整備局　出雲河川事務所
副所長　　真庭（まにわ）　利幸（としゆき）
（担当）流域治水課長　　尾長（おなが）　ゆかり

◇TEL　　０８５３－２０－１７６１（流域治水課直通）

出雲河川事務所 X（旧Twitter）

出雲河川事務所 HP

（別紙―１）

生態系ネットワーク とは

生物多様性が保たれた国土を実現していくために、保全すべき自然環境や優れた自然条件を有している地域を核として、これらを有機的につないでいく、それが生態系ネットワークです。生態系ネットワークの形成は、生物多様性を保つだけではなく、社会・経済面での様々な効果を地域にもたらします。

この取組は、エコロジカル･ネットワークとも呼ばれています

生きものの生息する環境が、地理的に連続している場合のほか、渡り鳥の飛来地のように、地理的に連続していない場合も、ネットワークに含まれます。

出典：「川からはじまる川から広がる魅力ある地域づくり―河川を軸とした生態系ネットワークの形成―」［MLIT］

（別紙 ―２）

第12回　斐伊川水系　生態系ネットワークによる
大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

日　時：令和７年８月４日（月）
１０：００～１２：００
場　所：さんびる文化センター プラバホール
大会議室（オンライン併用）

議　事　次　第（案）

１．開　会

２．あいさつ

３．規約の改正について

４．議　事

（１）生物多様性に関する国内外の動向と
斐伊川水系生態系ネットワーク全体構想について（出雲河川）

（２）活動状況等報告

2-1）　水辺環境等

①水辺環境・鳥類（合同）ワーキング報告（出雲河川）

②出雲河川事務所による生息環境づくりの取組（出雲河川）

③出雲市･雲南市におけるトキ･コウノトリの採食環境調査の報告(雲南市)

2-2）農地環境

①農地環境ワーキング報告（出雲河川）

2-3）地域振興

①地域振興ワーキング報告（出雲河川）

②出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会による
地域づくりの取組（雲南市）

③出雲市による地域づくりの取組（出雲市）

④雲南市による地域づくりの取組（雲南市）

2-4）環境学習

①環境学習ワーキング報告（出雲河川）

（３）大型水鳥の生息にも配慮した農地環境の改善について（呉地委員）

（４）その他

トキと共生する里地づくりネットワーク協議会開催報告（環境省）

５．閉　会